

# The Report to SPK Owners

2010.12 (Vol.30)

# SPK



## 第140期 中間期ご報告

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

SPK株式会社

## 目 次

SPKの企業文化	1
オーナーのみなさまへ	2
事業の報告	3
経営方針と見通し	4
四半期連結貸借対照表	5
四半期連結損益計算書	7
四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
主要経営指標の推移	9
株式の状況	12
株価の推移／当社グループの主要な事業所／役員	13
会社概要／株主メモ	14

## ■ SPKの企業文化

### <経営理念>

誠実 (Sincerity) に生き  
 情熱 (Passion) を持って仕事をし  
 親切 (Kindness) な対応ができる  
 企業人の集団

## ■ オーナーのみなさまへ

SPKオーナーのみなさまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

第140期中間期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の事業のご報告にあたり、社長 轟 富和日頃のご理解・ご支援に対し心から感謝申し上げます。

さて、当中間期の連結決算業績は、前年同期比で申し上げますと、売上高は16.4%の増収、営業利益は60.9%の増益、経常利益は35.6%の増益、四半期純利益は41.5%の増益となりました。

オーナーのみなさまへの配当につきましては、株主重視の方針にもとづき、中間配当は1円増配の25円とさせていただきます。

下期は国内外とも厳しい環境が続くと予想されますが、仕事の質を高め、マーケットを深く耕すという地道な営業活動を根気よく積み重ねて「持続する収益力」を強化してまいります。

なにとぞ、今後とも一層のご理解とご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長 轟 富和



## ■ 事業の報告

### 当第2四半期（中間期）の概況

当第2四半期（中間期）は、エコカー減税・補助金制度等の販売促進効果により、大きく落ち込んでいた自動車販売が回復し、自動車補修市場も明るさが出てきました。一方、エコカー補助金制度の終了を受けて新車販売に急ブレーキがかかることや、急激な円高が輸出企業に影響を与えて国内経済の減速感が強まっておりますが、当第2四半期（連結）の売上高は前年同期比16.4%の増収となり、利益面においても、営業利益が60.9%の増益となりました。

国内営業本部は、得意とする軽自動車用の機能・消耗商品の販売に地道に取り組むと共に、環境に適した新規商材の開発・販売に努めました。その結果、売上高は前年同期比7.0%増収の82億20百万円となりました。

海外営業本部は、世界同時不況の影響を受けた昨年度に比べれば、徐々に成約が増えてきましたが、円高の進行により厳しい環境が続いております。その結果、売上高は前年同期比21.4%増収の41億円となりました。

工機営業本部は、主要顧客である建機・産機メーカーの回復が著しく、増産体制が継続され、売上が拡大してきました。その結果、売上高は前年同期比88.7%増収の14億47百万円となりました。

### 当社グループ経営データ

#### ①当社グループの業績

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	対前年同期比
売上高	13,767	11,830	116.4
営業利益	475	295	160.9
経常利益	514	379	135.6
四半期純利益	298	211	141.5

#### ②当社グループの売上高データ

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	対前年同期比
国内営業本部	8,220	7,684	107.0
海外営業本部	4,100	3,378	121.4
工機営業本部	1,447	766	188.7
売上高	13,767	11,830	116.4

## ■ 経営方針と見通し

社会的貢献を維持するために「豊かに永続すること」、これがS P Kの経営目的です。

### <経営の基本方針>

- ① 企業の変革と経営の先進性を追求します。
- ② 全社員に成長するチャンスとステージを提供します。
- ③ 「持続する収益力」の維持・強化をめざします。
- ④ お得意先の満足と社会への貢献を追求します。
- ⑤ 株主、利益配分および情報開示を重視します。

配当については、上期の1円増配に続いて、下期も1円増配し、通期で2円増配の51円配当をし、13期連続の増配を実現していきたいと考えております。

### 通期の業績見通し

国内営業本部は下期以降厳しい環境が予想されますが、新規商材の開発・販売が効果をあげており、業績が向上しつつあります。

また、海外営業本部は円高進行の懸念はありますが、アジア市場を中心に回復感が期待できること、および工機営業本部は建機・産機メーカーの増産体制という背景もあり、業績の拡大をめざします。

上期は予想を上回るペースで推移しております。

通期連結業績の見通しは、下期以降、円高の進行や株安の影響等のマイナス要因もありますが、国内営業本部を中心に着実な向上が期待でき、期首の業績予想を達成してまいります。

### <当社グループの業績見通し>

(単位：百万円、%)

	通期見通し	前期実績	対前期比
売上高	27,500	25,024	109.9
営業利益	900	781	115.1
経常利益	1,000	931	107.4
当期純利益	600	517	115.8

## ■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前 期
	平成22年9月30日現在	平成22年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>12,847</b>	<b>12,855</b>
現金及び預金	3,358	3,703
受取手形及び売掛金	6,076	6,045
商品	2,397	2,281
繰延税金資産	109	113
関係会社短期貸付金	200	200
その他	750	559
貸倒引当金	△ 45	△ 49
<b>固定資産</b>	<b>1,556</b>	<b>1,411</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>780</b>	<b>796</b>
建物及び構築物	88	93
土地	619	619
その他	72	83
<b>無形固定資産</b>	<b>242</b>	<b>68</b>
ソフトウェア	18	22
その他	223	45
<b>投資その他の資産</b>	<b>534</b>	<b>547</b>
投資有価証券	282	293
繰延税金資産	135	135
その他	115	118
貸倒引当金	△ 0	△ 0
<b>資産合計</b>	<b>14,404</b>	<b>14,266</b>

科 目	当第2四半期	前 期
	平成22年9月30日現在	平成22年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>3,291</b>	<b>3,449</b>
支払手形及び買掛金	2,546	2,722
未払法人税等	210	240
その他	533	486
<b>固定負債</b>	<b>748</b>	<b>608</b>
退職給付引当金	455	462
預り保証金	61	57
その他	231	87
<b>負債合計</b>	<b>4,039</b>	<b>4,057</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>10,287</b>	<b>10,121</b>
資本金	898	898
資本剰余金	961	961
利益剰余金	8,429	8,262
自己株式	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	77	87
その他有価証券評価差額金	81	87
繰延ヘッジ損益	△ 4	△ 0
<b>純資産合計</b>	<b>10,365</b>	<b>10,208</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>14,404</b>	<b>14,266</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	13,767	11,830
売上原価	11,754	10,136
売上総利益	2,013	1,694
販売費及び一般管理費	1,537	1,398
営業利益	475	295
営業外収益	78	115
受取利息	3	4
受取配当金	1	1
仕入割引	60	59
受取保険金	—	38
その他	12	11
営業外費用	39	31
支払利息	1	0
売上割引	33	29
その他	4	0
経常利益	514	379
特別利益	4	1
貸倒引当金戻入額	4	1
固定資産売却益	0	—
特別損失	0	—
固定資産除売却損	0	—
税金等調整前四半期純利益	519	380
法人税、住民税及び事業税	209	116
法人税等調整額	10	53
四半期純利益	298	211

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

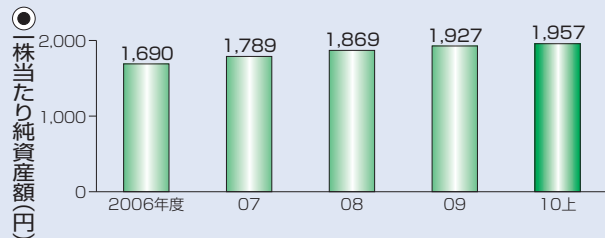
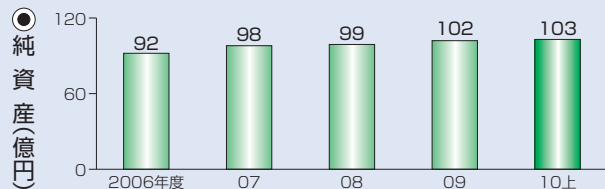
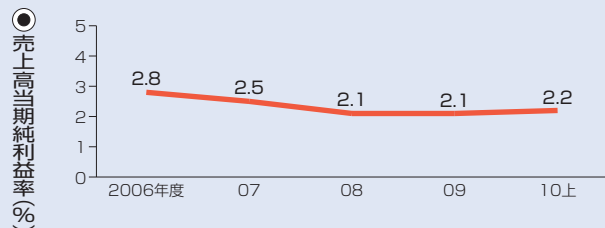
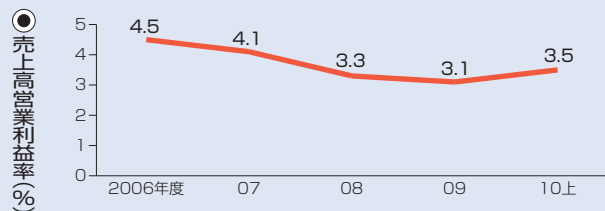
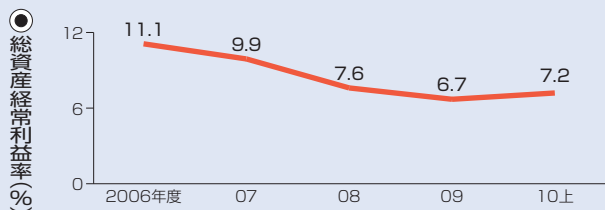
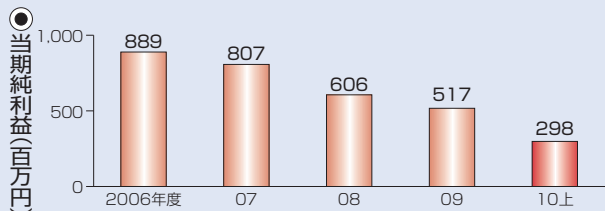
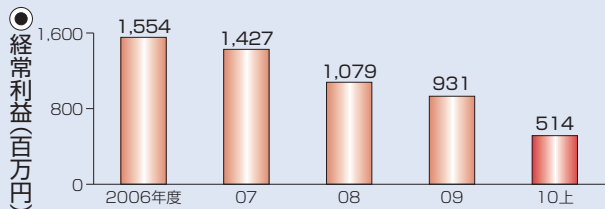
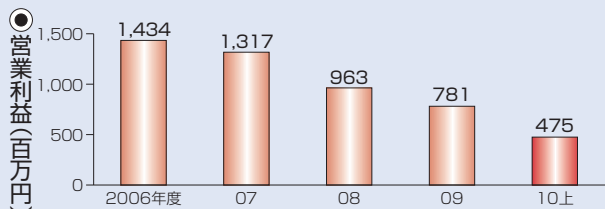
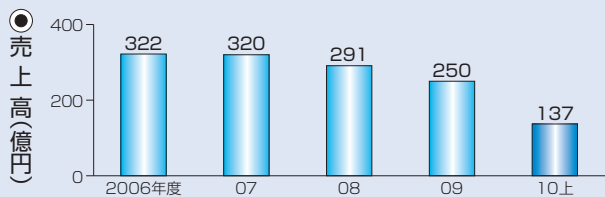
## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	519	380
減価償却費	30	33
長期前払費用償却	0	0
貸倒引当金の増減額 (減少：△)	△ 4	△ 6
退職給付引当金の増減額 (減少：△)	△ 7	△ 20
受取利息及び受取配当金	△ 4	△ 5
支払利息	1	0
売上債権の増減額 (増加：△)	△ 57	967
たな卸資産の増減額 (増加：△)	△ 116	△ 76
仕入債務の増減額 (減少：△)	△ 223	△ 360
その他	△ 100	△ 82
小 計	37	830
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△ 1	△ 0
法人税等の支払額	△ 239	△ 162
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 198	672
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△ 1,409	△ 857
定期預金の払戻による収入	1,200	870
有形固定資産の取得による支出	△ 6	△ 5
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	—	△ 2
貸付による支出	—	△ 200
貸付金の回収による収入	0	1
その他	0	△ 3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 212	△ 197
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△ 9	△ 2
配当金の支払額	△ 132	△ 127
自己株式の売買による収支	△ 0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 142	△ 130
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△ 1	△ 0
<b>V 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)</b>	△ 554	344
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	2,834	2,130
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	2,279	2,474

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

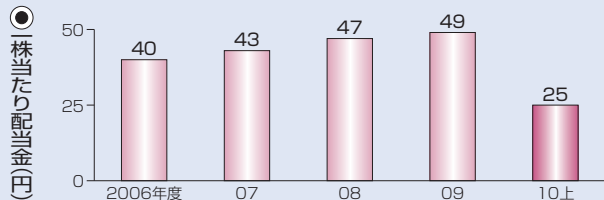
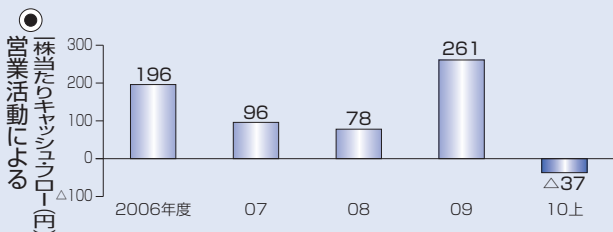
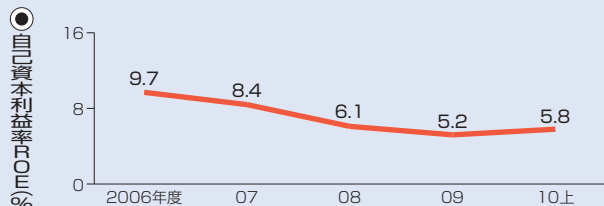
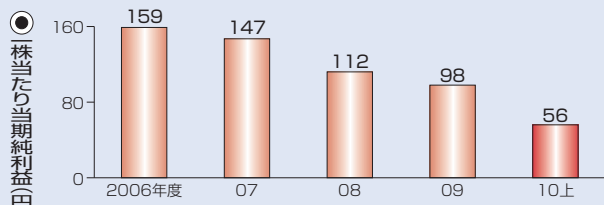
## ■ 主要経営指標の推移 (連結ベース)



主要経営指標の推移

主要経営指標の推移

## ■ 主要経営指標の推移 (連結ベース)



## ■ 株式の状況 (平成22年9月30日現在)

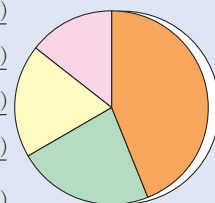
- ① 発行可能株式総数 22,000,000株
- ② 発行済株式の総数 5,296,900株
- ③ 株主数 2,909名
- ④ 大株主 (上位12名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	377,000	7.11
アールビーシー デクシア インベスター サービシーズ トラスト, ロンドンクライアントアカウント	254,900	4.81
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	186,700	3.52
SPK社員持株会	165,006	3.11
ビービーエイチ フォー フィデリティー ロープライス ストック フアンド	165,000	3.11
西野義貞	133,000	2.51
竹田和平	120,000	2.26
日本生命保険相互会社	116,600	2.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	109,700	2.07
株式会社エクセディ	100,000	1.88
スタンレー電気株式会社	100,000	1.88
チェース マンハッタンバンク ジーティーエス クライアント アカウント エスクロウ	100,000	1.88

(注) 持株比率は自己株式 (746株) を控除して計算しております。

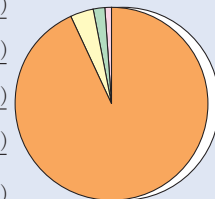
- ⑤ 株式分布状況
- イ. 発行済株式の総数 5,296,900株

個人・その他	2,332,670株 (44.0%)
金融機関・金融商品取引業者	1,200,083株 (22.7%)
国内法人	1,007,035株 (19.0%)
外国法人等	756,366株 (14.3%)
自己名義株式	746株 (0.0%)



- ロ. 株主数 2,909名

個人・その他	2,715名 (93.3%)
国内法人	111名 (3.8%)
金融機関・金融商品取引業者	54名 (1.9%)
外国法人等	28名 (1.0%)
自己名義株式	1名 (0.0%)



## ■ 株価の推移



## ■ 当社グループの主要な事業所

- ① 当社  
 <本社> 大阪市福島区福島5丁目5番4号  
 <営業所> 札幌・仙台・宇都宮・東京・名古屋・富山  
 近畿(大阪市)・広島・米子・高松・福岡  
 鹿児島・沖縄  
 <出張所> 浜松・徳島・熊本  
 <センター> 外車部品(大阪市)  
 <工場> 東京工機部(さいたま市)  
 大阪工機部(大阪市)  
 <その他> カスタマイズドパーツ部(東京都)
- ② 子会社  
 株式会社丸安商会 大阪市福島区福島8丁目18番14号

## ■ 役員 (平成22年9月30日現在)

### 取締役

代表取締役社長	轟 富和
代表取締役専務 海外営業本部長	砂川 裕伸
専務取締役 管理本部長	中田 陽市
常務取締役 国内営業本部長	松村 秀樹
常務取締役 工機営業本部長	赤穂 伸也
取締役 国内営業本部商品部長	畠 昇
取締役 海外営業本部アジア営業部マネジャー	沖 恭一郎

### 監査役

常勤監査役	仲山 利久
監査役 (公認会計士・税理士)	榎 卓生
監査役 (弁護士)	中務 尚子

## ■ 会社概要

商号	SPK株式会社
証券コード	7466 (東京証券取引所市場第一部)
本社所在地	〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目5番4号 電話06-6454-2571 FAX06-6454-2494
ホームページ	<a href="http://www.spk.co.jp/">http://www.spk.co.jp/</a>
会社設立	1917年(大正6年)
営業目的	自動車部品・用品/卸・輸出入 産業機械車両部品/企画・販売
取引銀行等	(株)三菱東京UFJ銀行・(株)みずほ銀行・ (株)りそな銀行・三菱UFJ信託銀行(株)

## ■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	6月
剰余金の配当の基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行(株)
同連絡先	三菱UFJ信託銀行(株) 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話 大阪 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告 公告掲載URL <a href="http://www.spk.co.jp/">http://www.spk.co.jp/</a>

ただし事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載する。

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。